

都道府県名：栃木県	市町村名：大田原市
<p>1. 活動名 「とちぎの元気な森づくり」事業を活用した 森林体験教室の開催</p>	
<p>2. 取組の背景、目的</p> <p>大田原市黒羽地区は、県内有数の林業地である八溝地域を包含している。 このため、林業振興会等の活動が他地域に比べて盛んであり、特に大田原市林業振興会は、高い林業技術を持った会員を多数抱えている。</p> <p>また、大田原市では、森林環境学習の推進のため、「とちぎの元気な森づくり県民税」の市町村交付金事業である「森づくり活動地域支援事業」を活用し、市内小学生を対象に森林体験教室を計画していたため、大田原市林業振興会に森林体験教室の開催を委託し、楽しみながら森林の大切さや木々とのふれあいの場を提供することとなった。</p>	
<p>3. 実施主体 大田原市林業振興会</p>	
<p>4. 取組の概要</p> <p>大田原市林業振興会が主体となって、「楽しみながら学ぶ」事を最優先に子供たちが興味を示すメニューを考え、実施した。</p> <p>具体的な内容は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① ヒノキの間伐体験</li> <li>② 落ち葉のプールを利用したアトラクション</li> <li>③ 小枝のエンピツづくり</li> <li>④ クリスマスリースづくり</li> </ul> <p>の4つである。</p>	
<p>5. 支援事業 とちぎの元気な森づくり県民税・市町村交付金事業 (森づくり活動地域支援事業)</p>	
<p>6. 取組等についての成果や課題</p> <p>基本的に「初めて」の体験である子が多く、皆興味を持って取り組んでいたため、森林環境学習の「導入」としては成功であるといえる。</p> <p>今後は、いかにして森林に興味を持ち続けてもらえるかがポイントとなってくる。継続した取組やメニューの多様化が望まれる。</p>	



#### ・ヒノキの間伐に挑戦

のこぎりを使ってヒノキの間伐を体験する小学生たち。

初めてののこぎりを使う子供たちも多く、一本の木を切るのに悪戦苦闘しながらも張り切ってのこぎりを挽いていました。



#### ・落ち葉のプールにダイブ

落ち葉を厚く敷き詰めた「落ち葉のプール」目がけて木に吊るしたロープからターザンダイブ！

子供たちの歓声が最も響き渡ったアトラクションでした。



#### ・小枝のエンピツづくり

自分の気に入った小枝を利用したエンピツづくりは、世界に1本しかない自分だけのエンピツとあって、ドリルで穴をあける真剣な表情が印象的でした。



#### ・リースづくりに挑戦

木のツルと木の実等を利用して、クリスマスリースづくりに挑戦しました。

女の子だけでなく、男の子たちの中にもセンス抜群のリースを完成させる子がいて、驚きでした。